

4月3日(月)

設計者を選ぶ

聖書朗読 詩篇 127編

主が家を建てるのでなければ、建てる者の働きはむなし。

詩編 127:1

2009年、上海にある13階建てのアパートが倒壊しました。建物はまだ建築途中であったため、一人の作業員が命を落としました。建物付近の土を掘削しすぎたため、近くを流れていた川の堤防を壊したことによる事故でした。基礎がずれてしまったため、今まで行ってきた建設作業がすべて無駄になってしまいました。

エペソ人への手紙4章で、パウロは信者に、『人の悪巧みや、人を欺く悪賢い策略により、教えの風に吹きまわされ』ることなく(14節)、『愛のうちに建てられ』ている一つの体として、キリストの体である私たちは力を合わせるべきだと言っています(16節)。信者たちは神が設計された教会のための計画に従うべきで、そうでなければ、教会建設に費やされた働きは無駄になってしまうということです。

私の人生を築いているのは誰でしょうか？ その答えは、次の問題に答えることでおのずとわかってくるでしょう。私はどのように自分の予定を決めているのか？ 私はお金をどのようにつかっているのか？ 私はどのように他人に接しているのか？

もし人生を満たされたものにしたいのなら、この先やるべきことを決めてくれる方はたった一人です。これは私の信仰、私の家族、私の教会の仲間に対しても同じことです。これらを築いていくためには、ただ神に服従し、神について行けばよいのです。もし、誰か他の設計者にゆだねるのなら、すべての働きは無駄になることでしょう。

聖歌 213

祈り 親愛なる主。風が吹き、基礎が四方にずれてしまっています。どうかあなた様のみことば、お導きに頼って歩いていけるようお助けください。そして、あなた様に従いながら、私たちの信仰、結婚、家族を築いていくことができるようにしてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

アンドリュー・フィリップス
テネシー州 コロンビア

今日の方

2017年4月3日～4月9日

翻訳 阿部 や よ い

編集 岩 田 欣 三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

4月4日 (火)

力ある言葉

聖書朗読 詩篇 119:17~32

そして私は広やかに歩いて行くでしょう。それは私が、あなたの戒めを求めているからです。 詩篇 119:45

詩篇119編のすべての節では(詩篇150編の全てですが)、神のみことばについての言葉が含まれています。神のみことばが私たちの人生を変えるのです!

私は今日のこの聖句をロシアで読みました。私は何年もの間、ロシアを訪れ、神のみことばを広めることができるようにと祈り続けました。当時ロシアへの渡航は政府によって禁じられていました。その後、ロシアへの渡航が可能になりました。私たちの祈りが聞き入れられたのです! 私たちはロシアに聖書を持ちこみ、聖書クラスを始めました。ロシアの人々は、この良い知らせを喜び、受け入れました。私たちは大学やその他の学校に教えるために招待され、聖書を広めました。

そこで私が見たものは、すでに私が知っていたことでした。福音は力強く、素晴らしい結果をもたらすということです。

聖書は望遠鏡のようなもの
もし望遠鏡をのぞきこめば
世界の先まで見える。

でも、望遠鏡を見るだけでは
見えるのは望遠鏡だけ。

聖書は、先にあるものを見るために
のぞきこむものである。

でも、ほとんどの人は聖書をただ見るだけ。
その人が見るのはただの活字だけ。

———— フィリップス ブロックス

讃美歌 187

祈り 主よ。あなた様の力強いみことばを与え続けてくださり感謝いたします。
みことばを広める術を私にお与えください。

イエス様の御名によって。アーメン。

デール・ジェンキンス
テネシー州 スプリングフィル

4月5日 (水)

箴言を読む

聖書朗読 箴言 26:1~11

わいろは、その贈り主の目には宝石、その向かう所、どこにおいても、うまくいく。 箴言 17:8

わいろはうまくいく、と言うこの聖書箇所を私たちはどうとらえたらよいのでしょうか? 神はわいろを受け取ることを良しとしているのでしょうか?

この聖句や、ほかの聖句を理解するカギは、箴言がどのような役割を果たしているかを理解することにあります。たとえば、ある箴言では『愚か者には、その愚かさにしたがって答えるな。あなたも彼と同じようにならないためだ。』とあり、しかし次に『愚かな者には、その愚かさにしたがって答えよ。そうすれば彼は、自分を知恵のある者と思わないだろう。』と続きます(箴言26:4~5)。これをどう解釈したらよいのでしょうか? その答えは、状況次第ということです。答えるときもあれば、口を閉ざしたままにいる方が賢い時もあります。この聖句は、疑いようのない意味を持つ永遠に変わらない真理ではなく、常にその文脈と目的から意味を理解する必要があります。

この理由により、箴言では、言葉の悪用に気をつけるよう言っています。愚か者が口にする箴言は力を失い、さらに悪いことに、箴言を悪用や誤用することで人を傷つけるのです(箴言26:7, 9)。箴言を読むときは、箴言を使うべき時と場をしっかりと知る知恵を持ち合わせるべきです。

讃美歌 358

祈り 主よ。あなた様のみことばを正しく使えるよう、箴言を使う時と場を知ることができるよう私たちに知恵をお授けください。心無い言葉で人を傷つけるのではなく、励ますことができるよう私たちをお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

グレン・ペンバートン
テキサス州 アビリン

4月6日 (木)

それがすべてですか？

聖書朗読 伝道者の書 1:1~11

神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。

伝道者の書 12:13

イスラエルの王ダビデの息子ソロモンは、そのときまでの最も知恵深い王となりました。父であるダビデ王のおかげで、神は、ソロモンが神にしっかりとどまるかぎり、ソロモンを祝福されました。ソロモンの謙虚な願いに答えて、神は富と誉とともに、賢く、そして聞き分けの心をソロモンに与えました。

ソロモンは40年間イスラエルの王として君臨しました。20年間誠実をもって神に仕えた後、最初の神殿を建築中に、ソロモンは他の女性たちと結婚し始めました。それは数人ではなく、700人もの女性とでした。そして、そばめも300人も持ちました！偶像崇拜に満ちた文化から来た女性たちのため、ソロモンは女性たちが信じる神々のための神殿や柱を建てました。妻たちを喜ばすために、ソロモンは真なる唯一の神への礼拝をないがしろにし、これらの神々のために生贄を捧げました。

神からの警告があったにもかかわらず、ソロモンは、自身の神に立ち返ることはありませんでした。ソロモンが死んだとき、イスラエルの12部族のうちの10部族はソロモンから奪われ、家来であったヤロブアムに与えられました。たった1部族、ユダ族だけがソロモンの息子のもとに残りました。

一人の老人としてのソロモンの言葉が伝道者の書には書かれています。それは、『空の空。すべては空！』(1:1)です。

『空の空』、この言葉からあなたは何を思いますか？

讃美歌 第二編 99

祈り 親愛なる主。私たちは何かをすること、何もしないことの重要性を見失いがちです。どうか私たちをお赦しください。そしてあなた様だけを見続けることができるよう私たちをお助けください。私たちに本当に必要なことを心から願い、そしてそれを実行できるようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ノーマ・プライ

カリフォルニア州 サウザンドオークス

4月7日 (金)

我々は神を信じる

聖書朗読 イザヤ書 6:1~8

ウジヤ王が死んだ年に、私は、高くあげられ王座に座しておられる主を見た。そのすそは神殿に満ちていた。
イザヤ書 6:1

政治家は私たちに、国家の安全と、強固な貿易政策と外交を約束します。より高い賃金、減税、そしてより良い医療の実現を私たちに保証します。彼らの言っていることは、私たちが抱えている問題を全て解決するかのようにみえますが、それは大きな間違いです。

ウジヤは良い王でした。そしてユダの国は彼の統治のもとで繁栄していました。52年もの国を治めたウジヤは誰よりも多くの人々に知られた王であったということになります。しかしウジヤは自身を絶対的な存在だと思ったのと同じように、国民もまたウジヤにすべてを委ねていたのか、国民は神にではなく、ウジヤに絶対的な信頼をおいてしまったのです。ウジヤが死ぬと、国民は無用な心配や不安に襲われたのです。

王座に座しておられる神のビジョンは、神は『万軍の主である王』(イザヤ 6:5)であることを、改めて預言者と国民に認識させました。上に立つものは尊敬を受けるべきですが、神はあがめられるべき御方なのです。神は「人間の国を支配」しておられます(ダニエル 4:17)。そして、この世には良い指導者、悪い指導者、その中間ぐらいの指導者たちがいますが、私たちがすべてを委ねることができる聖なる王は、神です。

聖歌 586

祈り お父様。あなた様の栄光と偉大さを見ることができるよう、私の目を開けてください。あなた様に絶対の信頼をおけるよう私の心を開いてください。あなた様を賛美するために私の唇を開けてください。

イエス様をとおして。アーメン。

ブルース・グリーン

アラバマ州 オペリカ

4月8日 (土)

愛の犠牲

聖書朗読 イザヤ書 53:5~12

キリストは、私たちのために、ご自分のいのちをお捨てになられました。それによって私たちに愛がわかったのです。ですから私たちは、兄弟のために、いのちを捨てるべきです。 Iヨハネ 3:16

私は、両親の結婚5年目の記念日に生まれました。両親は毎年私の誕生日パーティーを開いてくれました。私は自分が結婚して、自分の子どもを持って、初めて両親が決して私の誕生日に彼らの結婚記念日を祝わなかったことに気がつきました。

私は7人兄弟でした。そのため、母は、私たち兄弟全員のおなかを満たすために、ほぼ1羽の鳥のすべての部位を使って料理しなければなりませんでした。母はいつも、「私は鳥の背骨の部分が一番好きよ」と言っていました。

愛は、相手のために喜んで自己を捧げることです。

あなたや私たちのためにその身を捧げられたのは神の御意思でした。神は私たちをそれほどにまで愛してくださったのです。

神は、ご自分の御子をこの世に遣わし、十字架で死ぬように計らいました。『しかし、彼を砕いて、痛めることは主のみこころであった。』(イザヤ 53:10)

この愛の犠牲は神にとっての「喜び」でした。罪は神のこころを打ち砕き、別れの苦しみをもたらすものでした。私たちと神との関係をもとに戻すには、これ以外の方法はありませんでした。この愛の犠牲は、世の基礎が据えられてから、すでに決まっていたことでした。神はこの世をこれほどにも愛し続けておられます。

私たちは今、この愛の中で生きています！

讃美歌 第二編 230

祈り お父様。あなた様の愛、犠牲、赦し、約束は計り知れないものです。あなたが私たちを愛してくださっているのと同じくらい周りの人を愛することができるよう私たちをお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

キャロル・ロジャス
コロラド州 プエブロ

4月9日 (日)

神は考え直される

聖書朗読 エゼキエル 20:8~4

しかし、わたしはわたしの名のために、・・・わたしの名を汚そうとはしなかった。
エゼキエル 20:9

エゼキエル書20章では、4度にわたって神は神に従わないイスラエルの民に対して考え直すよう語られました。『わたしのおきてに従って歩まず、それを行えば生きることのできるそのわたしの定めをもないがしろにし、わたしの安息日をひどく汚した。』(13節)

神はいくつかの場——エジプト、荒野(13, 22節)、そして、約束の地(43節)で憤りをイスラエルの民の上に注ぎました。しかし、4度とも、神は、ご自身の名のために、彼らを連れ出すのを見ていた諸国の民の前でご自身の名を汚そうとはされませんでした(14節)。

幾度ともなく神は、反抗的な民を見捨てることはしませんでした(今でも私たちを見捨てることはされません)。それは、民の悪い行いや、腐敗したわざによってでなく、ただ神の名のためでした。(44節)。私たちもまた、神が私たちに示してくださった思慮深い行いをお手本にして、神のように、感情のままにではなく、私たちの名のために、周りの人に接するようにしたほうが賢くはありませんか？

讃美歌 第二編 184

祈り お父様。私たちの軽率な言葉、思いやりのない行いをお赦しください。私たちがあなた様のめぐみによって満たされているように、私たちも周りの人を愛で満たすことができますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

ケイ・エヴァンス
テキサス州 ラボック